

平成30年度（秋季）

# 議会報告会実施報告書

- |     |        |           |
|-----|--------|-----------|
| ○1班 | 雲浜公民館  | (P 1～ P4) |
|     | 加斗公民館  | (P 5～ P6) |
|     | 今富公民館  | (P 7～ P9) |
| ○2班 | 遠敷公民館  | (P10～P11) |
|     | 国富公民館  | (P12～P13) |
|     | 松永公民館  | (P14～P15) |
| ○3班 | 小浜公民館  | (P16～P18) |
|     | 宮川公民館  | (P19～P21) |
|     | 内外海公民館 | (P22～P24) |
| ○4班 | 西津公民館  | (P25～P26) |
|     | 口名田公民館 | (P27～P28) |
|     | 中名田公民館 | (P29～P30) |

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月2日(金) 19:30~21:00	
会場 / 地区	雲浜公民館 / 雲浜地区	
出席議員	1班 / 熊谷久恵、今井伸治、能登恵子、垣本正直、清水正信 (計5名)	
参加者(市民)	20名	
報告事項	司会・班長：能登、報告者(定例会報告)：垣本、(空き家対策について)：熊谷 書記：垣本	
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	5年以上入居されていない市営住宅は何戸ぐらいあるのか。このあたりでも10年以上入居していない木造の市営住宅がある。区として環境維持のために草刈りや剪定をしている。都市整備課からは、木造の住宅は今後入れる可能性はないと聞いた。先日もハクビシンが家の中に入っていた、長く放置されると、蜂の巣、ネズミ、野良猫、いろんな害があるため、お膝元の市営住宅の管理をお願いしたい。
	回答	維持管理で周辺の皆さんにご迷惑をかけていることについては、市の対応と、どう考えているか、担当課のほうから回答させていただく。
	質問	千種1丁目も山川登美子記念館の近くの空き家が、ようやく今取り壊しに入っている。相続人や家屋を持っている方に対して維持管理も含めて対応するように働きかけをしていただきたい。草刈りといえども、空き家は他人の持ち物であるため、むやみに入って草刈りもストップがかかる状況も実際あり、今後の維持管理も含めて働きかけをしていただきたい。
	回答	山川登美子記念館の隣の解体ごみがまだ搬出できていない状態だと思うが、今年中に排出するまでが契約の中に入っているということである。長い期間、厳しい状態であったが、所有者の費用で解体することになった。後については詳しいところは決まっていないようである。区からの希望など、要望として市に伝えていただきたい。
	意見	空き家を壊すのはよいが、壊すとその後税金が高くなる。本来ならこれは逆で、さら地にしたら逆に下げると言う問題は簡単に解決するのではないか、発想が逆じゃないかという気がする。
質問	これ(当日の資料)に空き家の有効利用がないが、数年前、徳島	【今後の対応】  行政に伝える (回答を求める)          当日の回答どおり

	<p>の老人ばかりのところに、東京のIT企業がそこに来た。要するに、パソコン1つで起業ができるということで、バス・トイレぐらいがあれば普通の民家でよい、小浜は京都から近いので、簡単に借りれるオフィスみたいな空き家をリクエストしている可能性はあると思う。自分のオフィスがあって、いい時期だけ来てもらって使うとか、何か努力はされているか？ ホームページでそういうことをPRしていると企業が手を挙げてくれて、空き家を使ってくれる。そこに若い人が来て利用してくれる、そういうことに手を挙げているのか。</p>	
<p>回答</p>	<p>市のホームページで紹介している。そういうのを望んでおり、小浜も誘致するようにしている。大阪のテレビ局が徳島への配信を止めたときにWi-Fiを徳島の町中に張りめぐらせた。そのWi-Fiの機能に目をつけた東京の起業家が来た。</p> <p>小浜も新幹線が来たら京都まで19分であり、それに向けての対策強化することも可能ではないかと思っている。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
<p>質問</p>	<p>河内川ダムについて、全体の事業費が450億ぐらいと聞いていたが、岩盤も悪く、どんどん金が増え、事業費が完成するまでにどれだけの事業費になるか全くわからないが、事業費について何%かの負担金が小浜市に請求されると聞いた。事業費が増えれば当然小浜市の負担が増えてくる。その結果、上水道費が2倍から3倍になる。私の家でも今7,000円強ぐらい払っているが、それが2倍ぐらいになると聞いている。市議会として、今後の上水道費がどれぐらい増えるのかわかれば、皆さんに説明していただきたい。</p>	
<p>回答</p>	<p>小浜市は約6%の水利権である。水の供給の形を浄水場をつくれば、今おっしゃったようになると思う。今後については、地下資源、水の調査もしており、その結果にもよるが地下水で十分賄えると思っている。そうなれば、無駄なことをする必要はなく、十分安全も確保でき、将来的にも大丈夫だと思う。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
<p>意見</p>	<p>南川の湯岡に深さ5mの井戸が2、3本ある(浜中の井戸は60m2本掘っている)。それを地下水というが、電気で上げている。その浅い井戸で伏流水をくみ上げて山の上に上げている、本来それは違うと思う。地下水と言っても伏流水。20m、30mの下からの水ではない、その区別を今後上水道のお金が増えるときに、議会で徹底的にもんでほしいと思う。地下水で間に合っているというが、僕の井戸で毎年雪が降って、消雪用のポンプが動いたら水が枯れる。今回の議会だよりで、塩水化しないと議会では言われているが、私の田んぼも塩水が入り井戸を掘り</p>	

	直した。条件のいいときの調査でなく、塩水化の心配ない地下水で水を賄う。もう少し、シビアな研究をしてほしいと日ごろから思っている。	
回答	小浜市の将来の水の計画、水道ビジョンの見直し作業等をしている。雲浜や西津、小浜地区については、豊富な地下水を無駄にして高い浄水場の水を飲む必要はないというような判断で、今、見直しをしており、今後、市の対応は明らかになってくると思う。皆さん方のお考えやご意見をお聞かせいただき、今後の施策に反映させていただきたい。	当日の回答どおり
意見	古い話ですが、雲浜地区の区長会長と市長と覚書を交わしている、浜中の井戸の水、最大2,000トン以上のくみ上げは許さんというような覚書が区にあり、今、浜中の井戸、何千トン丸山の上に乗せているのか聞くと、知らんと言う。ぜひ議会としてチェックしてほしい。昭和23年からの資料を皆読んで頭の隅に残っているのでお伝えした。	
質問	福井県婦人福祉協議会は市町の協議会が所属している。県の総会や研究会に動員があり、今までは役所のバスを出していただいていた、来年度はそういうことはできないと聞いた。何とかこれを継続してバスを出していただきたい。嶺南は旅費と時間で非常にロスしている。そのあたりも十分ご存じだと思う。ぜひお考えいただきたい。	
回答	要望のありました婦人福祉協議会の研修とか会議への出席のためのバスについては、どういった経緯でできないのかという理由、要望も含めて伝える。	行政に伝える (回答を求める)
質問	遺族会に入っている戦没者遺族遺児であるが、昨年の遺族会に対する予算が3万円だった、30年度はゼロで100%カットされた。来賓の方はいつも会に来られると、「英霊のおかげで今の繁栄がある」ということをおっしゃる。そこを酌み取っていただきたいと思う。補助金はどのように決められていくのか、ただ数字だけを減らせばいいというような考えなのか、1つの根拠があると思う。	
回答	遺族会の予算が3万円削られるようになったこと、お答えできるとよいが、経緯についても伝えておく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	公園維持管理事業について、千種公園だが、ふだん維持管理をしていただいております。指定管理者に委託をされているかと思うが、除草は契約上では年2回以上を実施するとなっていると聞いている。今年は特に草の生育がよく、伸び	

	回答	<p>た草をかき分けていかないとその遊具のどこまで到達できない状況になっている。回数を2回以上というところを3回以上というふうな形で、予算を付けていただき、快適な公園の利用環境が整えられるといいと思う。</p>	
	質問	<p>適切な管理に努めるよう2回、3回ではなしに、きちんと管理していかないといけないと思う。正確な回答をさせていただく。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p>
	質問	<p>市は宣伝があまり上手でない、食文化と言っているけど今はどこでもおいしいものがある。そこに行ってみようという気になるようなポスターをつくるといいと思う。</p> <p>お水取りに行き、お水送りにも行った。すごく幻想的で、あの松明はすばらしいと思った。しかし、全国的に知られていない。奈良のお水取りのときの松明のくず、ご利益があるとみんな拾う。鶉の瀬のお水送りの松明、気の毒に地元の消防団の人が集めて回られる、この違いだと思う。</p>	
	回答	<p>小浜愛にあふれた発言をほんとうにありがたく思う。次に生かしていきたい。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	質問	<p>雲浜小学校の横で二、三年前だと、河口で釣りができた、今、立入禁止になっている。それまではボートが置いてあった。</p> <p>昔、釣りをしていると、京都から来た人が、ここはものすごく落ち着く、釣れなくてもいい、京都から1時間半で、ここで釣りをするだけでストレスがとれると。・・・そこが一番いいところが立入禁止になってゴミだめになっている。そこをさら地にして、公園にすればすごくいいなと思う。</p>	
	回答	<p>個人の土地に関して、市は、ひどい状況であるなら空き家対策というような形での勧告なりができると思うが、どこまでできるかというのは、また確認してからお伝えさせていただきたいと思う。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p>

平成30年12月21日

小浜市議会議長 様

第1班 班長 能登 恵子

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月8日(木) 19:30~21:00		
会場 / 地区	加斗公民館 / 加斗地区		
出席議員	1班 / 熊谷久恵、今井伸治、能登恵子、垣本正直、清水正信 (計5名)		
参加者(市民)	20名		
報告事項	司会・班長：能登、報告者(定例会報告)：垣本、(空き家対策について)：熊谷、書記：今井		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	小浜市が管理者になった個人所有物の古河屋庭園の修復費は、小浜市が負担しなければいけないものなのか。 将来小浜市が観光地として無料開放をするのか。	【今後の対応】  当日の回答どおり
	回答	当該物件は個人の財産であるが、県の指定文化財であり、この度「北前船寄港地・船主集落」として、鯖街道に続いて二つ目の日本遺産に登録された北前船に関わる数少ない施設である。このままでは荒れるに任せる事になるため、市が管理者となって手入れをするということである。 今後は駐車場を確保して、観光客にも北前船に関する文化財として活用していきたいと考えている。	
	質問	あと30年使える空き家の場合、改修して貸すとか有効利用をしたらどうか。	当日の回答どおり
	回答	西組では町家の古民家を改修、それを貸館とする取り組みが3軒実績としてあり観光客に対応している。「小浜で暮らそ」というホームページで相談されたらと思う。	
	質問	児童クラブと児童館の違いは。	当日の回答どおり
	回答	児童館は0歳から17歳までの子供を対象とする児童福祉施設で、無料。放課後児童クラブは保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校の子供たちに対し、授業の終了後に生活の場を提供するもので、有料である。	
	質問	福井しあわせ元気国体準備事業では、若狭総合公園に新しい施設をつくったのか。	当日の回答どおり
	回答	この費用は小浜で主催・主管したラグビーとかビーチバレー等の競技に係る設営費とかの全体の事業費である。この事業は、若狭総合公園の中の施設を、国体終了後に選手の育成や競技会場として、通年的な利用が出来るように砂を入れて、ビーチバレーが出来るように改修をしたもので、その費用の一部である。	

質問	水道水源開発だが、民営化の話もあるが、河内川ダムもそういうことはあるのか。	
回答	水道事業も民営化という話もあるが、小浜市においては民営化されることは無いと思う。	当日の回答どおり
意見	河内川ダムの件はもっと検討して欲しい。	行政に伝える (回答は求めない)
質問	市役所に陳情に行くと、二言目には「金が無い」と言われる。市民はどうしたらいいのか。金が無いなら無い方法の言葉の使い方があるのでは。	行政に伝える (回答は求めない)
質問	議員定数についてお聞きしたい。	
回答	昭和 38 年以降前回の選挙で初めて無投票になった。議員定数は最初 24 名から 2 回定数を減らして、18 人になった。報酬は平成 6 年からそのまま、定数が 3/4 になった。定数を減らすことが議会の質が上がることなのか、議会が活性化したのか、そこを議論しなくてはと思う。むしろ定数を減らして狭き門にすることが、若い人が出にくくなった原因の 1 つと思う。今そういうことも踏まえ、一昨年から議員定数、報酬等について議会改革も含めて議論している。	当日の回答どおり
意見	少数精鋭という言葉もあるようにそれも出来るんじゃないか。	議会で検討
意見	定数を 13 人にして差額分をわずかでも年金とすれば、若い子らが出やすいのでは。	議会で検討
意見	管理職、自治会長とかに女性が出てくるようにしてほしい。	当日の回答どおり
回答	まず地域で婦人会とか P T A、保護者会とかに女の人がたくさん出ていただいて、そこから輪が広がっていくよう期待する。	

平成 30 年 12 月 11 日

小浜市議会議長 藤田 善平様

第 1 班 班長 能登 恵子

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月16日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	今富公民館 / 今富地区		
出席議員	1班 / 能登恵子、清水正信、垣本正直、今井伸治、熊谷久恵(計5名)		
参加者(市民)	54名		
報告事項	司会・班長: 能登、報告(定例会報告): 垣本、(空き家対策について): 熊谷、書記: 熊谷		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	水道水源開発整備事業について、県、若狭町、小浜市で維持管理費を県に支払うとなっているが、負担率はどうなるのか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	河内川ダムが完成してからの維持管理費については、県に支払うことになるが、建設と維持管理費の負担割合は必ずしも同じにはならず、現時点ではまだ決まっていない。	
	質問	小学校施設維持補修費について、各小学校の老朽化により台風など雨が吹き込み水漏れがあり、補修費は緊急性を要する予算としてとれないか。	当日の回答どおり
	回答	安全に学校生活が送れるように担当課へも伝える。児童、職員や父兄の安全に関する緊急を要するものは、当然別に対応している。	
	質問	空き家対策について、台風20号と21号とこの間の突風で、隣の空き家から屋根などの飛来により3回被害に遭った。まだ隣家の対策がしっかりなされていないため心配。通学路にもなっているの、この状態を何とかしてほしい。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	詳細について担当課に確認して連絡をさせていただく。	
	質問	河内川ダムから小浜市が水道を引くと、水道料金はどうなるのか。上がるとすれば個人の負担金はどのくらい上がるか。	当日の回答どおり
	回答	河内川ダムの目的は多目的ダムなので、治水、災害をなくすこと、飲料水、工業用水に使うという形で、小浜市も権利を受けると負担金を払っている。浄水場をつくることで金額が上がるが、昨年、地下水調査を行った。その結果も踏まえて、配管も老朽化しているため、簡易水道の統合も含めて、今年度末に新水道ビジョンを策定し、それに基づいて対応することになっている。	
質問	空き家の維持は手間とお金がかかる。更地にした場合、固定資産税が6倍に増えることが一番のネックで、小浜市の固定資産		



		税が福井市に次いで非常に高い。売れない場合、長期間管理するのは大変なこと。小浜市だけ特例で、空き家への固定資産税を減額する、もしくは更地にした場合、税率を下げる。かなり対策が進むと思うがどうか。	
回答		固定資産税の税率で、壊してしまうと特例がなくなり高くなるということだが、これは特例がなくなり元の税率へ戻るということである。小浜市は評価額が高いのではないかということだが、あくまでも、税率は1.4%ということ、どこも同じ。評価額が高いから結果的にそうなるということである。	当日の回答どおり
質問		評価額が高いことで国民健康保険にも影響も出ている。空き家や土地を持っていると国民健康保険料が上がる。また高くなるということらしいがどうなるのか。	
回答		国民健康保険税の固定資産割りの評価率は下げる方向にある。	当日の回答どおり
質問		青井の火葬場について、次の場所は怎么样了のか。	
回答		<p>広域斎場の件と、広域のごみ処理クリーンセンターの件と2つあわせて説明させていただく。谷田部のクリーンセンターも15年が経過し、さらに10年の延長ということで今動いているが、そろそろ更新の時期となり、小浜市だけでクリーンセンターをつくるのは予算的にかなり厳しくなっている。そこで、地域の皆さんの利便性も考えつつ、小浜市、高浜町、おおい町、若狭町、1市3町で推進している。</p> <p>焼却施設は、高浜町で動いているごみ焼却施設の跡地を新しいクリーンセンターにする方向で進んでおり、今は環境影響調査中で、平成34年度中に施設を稼働させる予定である。</p> <p>広域斎場だが、クリーンセンター同様、小浜市だけで新しい斎場をつくるのは財政的な負担も多いことから、若狭町を除いた、高浜、おおい、小浜で新しい斎場を考えて、平成36年度中に共同設置して稼働する予定で動いている。場所はまだ決まっていないが、ごみ処理場が高浜にできることから、広域斎場はおおい町か小浜市で持つという状況である。</p>	当日の回答どおり
質問		水道事業が民間事業に移行するが、小浜市ではどういうふうな格好になるのか教えてほしい。	
回答		水道の民営化について、国はそのような方向性を示しているが、民営化は採算がとれないと運営できないため、現時点で小浜市は民営化の方向に進めにくく、進める意思はない。	当日の回答どおり

質問	若い人がもっと立候補できるよう、何か方法を考えているか。	
回答	議員は年齢制限もないので、どんどんチャレンジしてほしいと思っている。ただ、仕事を持っているときに、意思があっても会社をやめてまで出るのはハードルが高いのかなと思う。若い人、女の人に出てもらい小浜市の議会が活性化していくのはありがたいと、どんどんチャレンジしてほしい。	当日の回答どおり
質問	若い人も立候補しやすい制度のようなものを、議会で考えているのか。	
回答	若い人にも議会や議員に親しんでほしいと思う。小浜市のためにやってみようという人材を掘り起こすためにも、皆さんとの距離を縮める機会として議会報告会を一つのチャンスとして使っている。若い人も年輩の人も一緒に仕事をして小浜市を変えていこうとPRしたい。	当日の回答どおり
質問	20年ぐらい今富地区に公園を希望しているが、なにか形にならないものか。	
回答	今富は新しい家も増え小さい子供たちも多いことから、公園が必要と理解している。しかし今富地区は都市計画がなされず、個々に開発が進んでしまったため、今から都市計画ができないのが現状で、地価が高く土地の提供は出にくいと、なかなか難しいところであるが、今後も諦めることなく要望していく。	当日の回答どおり
質問	昨年1人欠員になったが、来年の改選は定員減にするのか。	
回答	平成11年の選挙時は定数24人、15年は3人減らし21人、19年は3人減らし18人になった。候補者は平成11年は定数よりも4人オーバー、15年は3人オーバー、19年は2人オーバー、23年は1人オーバー、前回平成27年の小浜市市議会議員選挙では、昭和38年以来初めて無投票であった。定数を減らすことにより手を挙げにくくなり、減らすことが活性化につながりよくなっているのかは疑問である。議会は、理事者が運営する政策を展開する中で監視的な役割を持っており、議員数が減るといことは皆さんの声を届けたり、監視が行き届かなくなることにもつながりかねない。議会でも議会運営委員会の中で定数について議論しており、12月に結論を出し、何らかの形でご報告をさせていただく。	当日の回答どおり

平成30年12月15日 小浜市議会議長 藤田 善平 様

第1班 班長 能登 恵子

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月2日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	遠敷公民館 / 遠敷地区		
出席議員	2班 / 風呂繁昭、三木尚、竹本雅之、小澤長純(計4名)		
参加者(市民)	28名		
報告事項	司会・班長:三木、報告者(定例会報告):竹本、(空き家対策について):風呂、書記:小澤		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	人口減少問題について、Uターン対策と地元に着定できるような施策が重要であり、結婚に結びつくような出会いの場の確保も重要と考えるが、議員の意見をお伺いしたい。	【今後の対応】  当日の回答どおり
	回答	高校卒業後、都会の大学や専門学校に行き、地元で働く場所がないということで若い人が戻ってこない(特に女性が戻らない)。福井県は有効求人倍率は高いが働きたい場所がなくミスマッチになっている。また、出生者数の倍の方が亡くなったり、転入者より転出者が多い状況が続いており、人口減少の大きな要因となっている。若い人の働く場所を確保するとともに、住みやすい子育てしやすいまちにしていくことが、人口増につながるものと考えている。婚活も非常に大事で市も頑張っているが、民間の取り組みや寺・神社での活用も進めていくべきである。	
	質問	3年間言い続けているが、若狭の里公園の手入れができていない。古い民家もきれいに修繕できないか。市は県と協議を進めると同じ答えを3年間も聞いている。今後の方針をきちっと示してほしい。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	古民家が非常に傷んでいるのは認識している。整備すれば素晴らしい観光地になるのではと思う。市を通じ確認させていただく。	
	質問	遠敷地区の避難場所は、遠敷小学校がなくなると遠敷公民館と美郷小学校ということになるのか。また、サンサンホームは福祉避難所ということで使えないが、地区の人がいろいろと利用させてもらっているサンサンホームが使えないというのは大きな矛盾を感じる。市に話しをしたが返事がない状況なので調べて報告してほしい。	
	回答	アンケートを取る中で、地域の皆様のご意見をまず伺って避難所を決めていくことになる。市に伝え報告させていただく。サンサンホームについても確認させていただく。	行政に伝える (回答を求める)

質問	セイタカアワダチソウが多く発生している。ススキもなくなってきているし、菜の花も咲かなくなるのではと心配している。このまま放置しておけないと思う。市民に協力してほしいというのであればそれはそれでしたいと思うが、議員から市のほうに働きかけをお願いしたい。	
回答	全く同感である、大きな問題だと思う。市に働きかけさせていただく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	美郷小学校について、きれいな大きな学校ができ、他の地区からも立派なものが出て良かったなどお褒めをいただいている。しかしながら、バス停の進入路の舗装があまりにもお粗末である。一度見ていただいて対応をお願いしたい。	
回答	我々もまだ見ていないので、確認し要望させていただく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	遠敷川の水位がだんだん高くなってきている。少雨でも水かさが増え、危険水域になってくる。とにかく、水をはかさないといけないと思うので、協議をお願いしたい。	
回答	十分認識しているので、しっかりと要望させていただく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	下根来の高野の上のところの舗装工事がいつまでたってもできていない、片側通行が長く続いている。どうなっているのか。	
回答	市も限られた予算の中で多くの道路を管理しており、緊急性等により優先順位をつけながら進めていると思うが、確認させていただく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	新幹線について、分かっていることを教えてほしい。	
回答	今年度中には、3キロ幅で大まかなルート・駅舎の位置が公表されると聞いている。今後は財源確保が大きな課題となってくる。駅周辺の整備をはじめどのようなまちづくりをしていくか、今後の方針をしっかりと立てることが重要であると考えている。	当日の回答どおり

平成30年12月21日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 三木 尚

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月8日(木) 19:30~21:00			
会場 / 地区	国富公民館 / 国富地区			
出席議員	2班 / 風呂繁昭、三木尚、竹本雅之、小澤長純(計4名)			
参加者(市民)	18名			
報告事項	司会・班長:三木、報告者(定例会報告):竹本、(空き家対策について):風呂、書記:小澤			
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	台風の強風被害で、空き家のトタン屋根がめくり上がり、近隣の住宅に当たり窓ガラスが割れる被害があった。都市整備課に来てもらいトタン屋根を取り払ったが、今後は相続人を探して解体に向け調整していくということであった。すぐにでも代執行してほしいがその後何の連絡もない。時間がかかるのはわかるが、こちらから聞かないと教えてくれないのではなく、状況報告を半期に一度でもしてもらえないか。	<b>【今後の対応】</b>	
	回答	まずは、状況を把握して所有者を探すことから始まると思うが、状況報告をしっかりとるように市に要請させていただく。		行政に伝える (回答を求める)
	質問	関連して、被害のお金は所有者に払ってもらえるのか。		当日の回答どおり
	回答	民法上の賠償責任は発生しない。免責ということになり、火災保険等自己責任で対応するというのが大原則である。		
	質問	空き家対策の補助制度について、よその人だけでなく小浜市内の人にも適用してもらえると、空き家も減少し定住にもつながっていくと思うが。		行政に伝える (回答を求める)
	回答	市外の方に限った補助制度であるが、それを広げて市内の方にもプラスになるよう要望させていただく。		
	質問	道の駅整備事業について、ターミナルというのは何を意味するのか、また、どういった目的でされるのか。		当日の回答どおり
	回答	ターミナルとはバスターミナルのことである。バスターミナル機能の拡張など交通結節点としての機能強化を図り、交流人口の拡大を目的としている。		
	質問	関連して、国体の時もそうだが小浜は駐車場があまりにもない、整備が必要ではないか。		行政に伝える (回答を求める)
	回答	おっしゃるとおりで、小浜市は駐車場が全く不足している。大きな問題として今後検討していかなければならない。		

質問	小浜で暮らそ事業について、20名ほどの方が体験してうち2名が移住されたということだが、どういう所に住んでおられるのか。	
回答	把握していないので、確認しご報告させていただく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	小浜病院などの200床以上の病院は、紹介状なしの初診料の上乗せについては、任意で病院が設定できるのか。病院へ行くと半日・1日仕事になるが、初診料の上乗せによって患者を減らすとスムーズに診察してもらえるようになると思うが。	
回答	紹介状なしの初診料の上乗せについては病院独自で設定できる。小浜病院の基本的な考え方としては、外来患者についてはまずは開業医で診ていただき、詳しい検査や入院の必要がある場合は病院に来ていただくというのがスタンスである。	当日の回答どおり
質問	警察がJA横へ移転すると聞いているが、跡地はどう利用するのか。	
回答	今のところ聞いていない。JAの近辺については農振地域が多い。新幹線の駅舎周辺の整備のことも今後出てくるが、議論が必要と考えている。	行政に伝える (回答を求める)

平成30年12月21日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 三木 尚

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月16日（金）19:30～21:00		
会場 / 地区	松永公民館 / 松永地区		
出席議員	2班 / 風呂繁昭、三木尚、竹本雅之、小澤長純（計4名）		
参加者（市民）	16名		
報告事項	司会・班長:三木、報告者（定例会報告）:竹本、（空き家対策について）:風呂、書記:小澤		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	小浜市放課後児童クラブ条例について、どこに造られるのか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	美郷小学校敷地内のバス出入口の奥に、校舎・体育館とは別の建物として造られている。	
	質問	市税不納欠損額に関連して、貧困にはいろんな事情があり本当に払えないケースもある。悪質な滞納者という表現はどうかと思うが。	当日の回答どおり
	回答	悪質滞納者という意味合いは、毎月幾ら払うと約束しながら払わないとか、来てくれと言ったのに居ないとか、そういう意味での悪質である。	
	質問	小浜病院はどれだけの赤字があるのか、赤字の推移を数字で示してほしい。経営状況の公表はしているのか。看護師等の接遇も悪い。病院にかかる人が満足な医療を受けられないというのが問題であり、経営の改善がその大前提と思うが、どう考えているか。	行政（病院）に伝える （回答を求める）
	回答	平成29年度の赤字額は1億1,900万円である。平成15年度から赤字が続いているが徐々に改善してきている。公的病院ということで、へき地医療や救命救急センターなど不採算部門の事業もあり厳しい状況が続いている。接遇については、看護部を中心に日々努力しており良くなってきていると思う。経営状況の市民への公表は現在していない。赤字の推移については報告させていただく。	
質問	小浜線の増強工事に県予算がついたという話しは本当か。	当日の回答どおり	
回答	風雨等に強い小浜線の機能強化や快速化等による利便性の向上について、県及びJR西日本に対し、市の重要課題として要望しているところである。現在のところ、工事に関する回答はない。		

質問	遠敷川と松永川が合流している所から北側までの所（美郷小学校の横）に土砂が堆積している。遠敷の国分もよく氾濫している。早急に浚渫をお願いしたい。また、東市場の山から上野の山にかけて亀裂が入っていると聞いたが、議員の皆さんは知っているか。	
回答	最近、特に遠敷川がすぐに危険判断水位に達している。議会としてしっかりと要望させていただく。亀裂については聞いていない。市に確認をする。	行政に伝える (回答を求める)
質問	松永小学校の廃校が来年3月に近づいている。跡地利用について提案はしているが、市から具体的なものが何も出てこない。特に、プールは残してほしい。松永だけではなく各学校に対してどのような方向付けを持っているのか、確認してほしい。	
回答	確認させていただく。	行政に伝える (回答を求める)
質問	新幹線の敦賀以西について、どういった動きになっているのか、最近の状況を教えてほしい。	
回答	来年の3月に、3キロ幅でのルート、駅舎の位置が公表される。その後、環境アセスメントに入り、3、4年かかると聞いている。財源確保に向けて、市議会も要望を重ねている。	当日の回答どおり
質問	開業までの期間についてはどうか。	
回答	北海道新幹線の札幌開業（2030年）までに、新大阪までつなぎたいということで要望している。	当日の回答どおり
質問	車両基地について、小浜市として何か動きはあるのか。是非とも小浜に持ってきていただき、企業誘致、雇用につなげてほしいと思うが。	
回答	特に聞いていない。若い人達が帰ってくるには企業誘致が絶対必要である。それができるのは行政だけなので強く要望していきたい。車両基地については確認する。	行政に伝える (回答を求める)
質問	快速鉄道の積立金が県と市で80億円ほどあったと思うが、その使い途は決まったのか。	
回答	要望としては、80億円全てを嶺南でと考えているが、具体的な話しはまだない状況である。	当日の回答どおり

平成30年12月21日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 三木 尚



小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月2日(金) 19:30~21:07		
会場/地区	小浜公民館/小浜地区		
出席議員	3班/藤田善平、池尾正彦、牧岡輝雄、西本清司(計4名)		
参加者(市民)	17名		
報告事項	司会・班長: 牧岡、報告者(定例会報告): 池尾、(空き家対策について): 藤田善、書記: 西本		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	空き家対策というのはもう社会現象ではないのか、それよりきれいにどう処理するかということのほうが大事であり、発想を変えいかに人を住ませるか、現状では若い人はそんな古い家に住もうとはしないのではないのか。	【今後の対応】  当日の回答どおり
	回答	市においても努力をしており、権利所有者の県外、海外在住といったケースもあり、なかなか解体等が進展しないと聞いている。独居の方が死亡する等、年々空き家が増加、他市町事例でも、空き家解体で自治体の主導を進めると、結局は地域に最終管理をお願いする結果となり、進めていくには限度がある、市として空き家をどう活用していくか悩みであると思っている。	
	質問	最近、治安が悪くなったと感じ具体的には、ホームレスが増えた。今まで知らなかったが、長いことそこに住んでいるという。問題視をし、市や県に言っても解決策は示してくれない。この人たちは無所得で、別の問題かも知れないが、空き巣が増加し、小浜地区のこの2つを踏まえて、警察にも県にも市にも話をした。治安国家で適応した法律があるわけで、これらが増加してくると、街の空気が悪化し、観光客にも影響があり、法律に則り対処すべきである。行政ではお手上げ感があるが、議会からホームレス対策について行政に確認、対策等を提言してもらいたい。	【今後の対応】  行政に伝える (回答を求める)
	回答	現状を確認していないので、確認する。	
	質問	先月の国体では、美浜町、おおい町、高浜町へいったが、これらの町は国体の運営もセッティングもおもてなしも、完璧であった。その理由は、個人的には原発交付金があるからだと思う。小浜市には原発交付金が入ってないので、これらにも対応出来ないのではないのか。	
	回答	入っている。	
質問	原発交付金は電力会社の負担でなく、電気消費者の負担で、そ	当日の回答どおり	

	回答	<p>れを国がまとめて県に交付する仕組みだと思うが、県や国への働きかけ、市や県、議会が政治力を発揮しないとだめだと思うが皆さんのビジョンはどうか。</p> <p>この場合は個人的見解を述べるところでない。行政全体ではまちづくりを進めるにあたり、観光客、交流人口の増加を目指し、海の駅、道の駅、まちの駅を整備した。あとは新幹線の開業後を見据えた取り組みを現在行っている。</p>	当日の回答どおり
	質問	<p>北陸新幹線が小浜京都を通過するまでに、大体、小浜まで20年かかる。今現状では高校生が卒業したら、多くは大学等に行き、大多数が大学周辺の都会で就職する状況である。新幹線開業後は京阪神が通勤範囲となり人口増に繋がるといっている。新幹線利用費用が月何万も掛かると思うが、人口増は現実的な話となるのか聞きたい。</p>	
	回答	<p>現在新幹線運賃の具体的な内容は持ち合わせていないが、現況では就職先企業負担が例となっていると認識している、詳細は後日の返答とさせていただく。</p>	行政に伝える (回答を求める)
	質問	<p>3年ほど前のこの議会報告会で議員定数のことを質問した。無投票当選となった時で、議員定数についての考えを聞いたら、今現在、議会で議員定数減について議論と聞いたが、その後、何も伝わってこないがどう進められているのか聞きたい。そして小浜市は人口3万人を下回る状況となり、財政状況も厳しく市民目線からすると議員定数を削減すべきという考え方となるがどうか。</p>	
	回答	<p>平成27年6月に当時の議長より議会運営委員会に、議員定数等について諮問された。その後議会改革や議員定数等も含め議会運営委員会や、委員会内のワーキング・グループ等でも協議してきた。また市民アンケートや、有識者の意見等、多様な選択方法を探り、現在19項目を選別し協議している。今年10月議員全員での協議も実施、その中では減員、据置き、増員等意見が分かれた。今後複数回協議の後、今年12月に結果を集約し、議長へ答申する予定。結果内容は議会広報紙にも載せる予定で、今しばらくお待ち願いたい。財政面は、指摘通りだが、全ての地方自治体財政はひっばくしていると感じる。定数に関し有識者の中には、削減を進めれば、戻すことは現実的に大変難しく、極限まで削減した場合、将来世代に及ぼす影響は想像出来る。法解釈では首長と議会の存在しない組織は自治体にはあたらぬ、多様な議論が出来る定数を探るべきとの見解もあ</p>	当日の回答どおり

	意見	<p>った。</p> <p>議会は議会制民主主義で、議員は選挙民が投票し市民になりかわって行政と交渉するもの。今の小浜市会は無投票であったので議会制民主主義の定義に合っていない。また、1人欠員になっていて補充されていない、よって今の市会というのはほんとうに議会制民主主義なのか。一方で定員を減らすばかりが適正でなく、適正規模というのは、公式もなくむやみに減らすのは逆に議会制民主主義に反する面もあり、市民の負託に応えられないのではないか、一市民の意見として。</p>	
	回答	<p>国会は国民投票にて国会議員を選び議院内閣制で国を運営、地方自治体は首長と議会議員が共に選挙にて選ばれ二元代表制で行政運営を行う。地方自治体議員の定数に関する規定が無くなり、自治体にて定数を定めることとなっている。小浜市でもここ十数年内に段階的に定数を24人から18人にした。無投票選挙は好ましくないが違法ではない、また市民の負託に応えることは当然の責務である。欠員の補充に関しては決まりがあり、首長選挙前の欠員は首長と同時選挙にて補充し、首長選挙後の欠員は一定の要件を満たさないと補充出来ず、小浜市は後者で要件を満たさず未補充となっているのが実態である。</p>	当日の回答どおり

平成30年12月20日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 牧岡 輝雄

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月8日(木) 19:30~20:59		
会場/地区	宮川公民館/宮川地区		
出席議員	3班/藤田善平、池尾正彦、牧岡輝雄、西本清司(計4名)		
参加者(市民)	16名		
報告事項	司会・班長:牧岡、報告者(定例会報告):池尾、(空き家対策について):藤田善、書記:西本		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	今年1月~2月寒波等で水道管の破裂が多くあって苦勞した。30年前にダムをつくらうという話から、完成予定が10年遅れて来年河内川ダムが完成する。賛否あるが、水がないことには生活は成り立たない、水管理費の負担金等あると思うがどうか。水の確保についてよろしくお願ひしたい。	【今後の対応】  当日の回答どおり  当日の回答どおり  当日の回答どおり  当日の回答どおり
	回答	議会でも賛否があり、河内川ダムは必要ではないとする人もいる。市としては、将来のことは予想不能で、水を確保することは生活する上において最も必要なことと判断している。工場誘致するにしても、農業関連のことにしても将来河内川ダムは必要となるという姿勢で市は臨んでいる。	
	回答	平成28~30年当初予算平均で総額約2億円、小浜市単独負担額は平均33,600千円程度、実質負担率16.6%程度で、83%余り国県交付金で賄っている	
	質問	浄水場とかの計画はないのか。	
	回答	浄水場建設には数十億円かかるという試算もある。全てを判断している訳ではなく、その前に水利権を確保するために負担金を支払っていると認識しており、浄水場を、いつ頃、どこにつくるかという話は現在聞いていない。再度水源の調査をするため予算化し、3年程度かけ実施、現在精査中で、本年度中に報告があると思う。将来の水事情を勘案し最良の方法を模索し取り組んでいると考えている。	
	質問	宮川地区は、地区単独で見た場合は非常に水源が不安定である。市では簡易水道を本来の水道に合併することも考えているようだが、市街地部分の地下水だけを見て議論せず、地域的な特性も踏まえ全体に目配りをして議会の中で議論してもらいたいが如何か。	
	回答	内容については、地元議員からも聞いている。理事者側にも委員会等の中で伝えている。現在水道関連事業等は、市財政の一般会計でなく、特別会計等の別会計で行っている、これを企業会計に移行するよう国から指針があり、その会計移行が出来な	

	いと転換が出来ないと担当課から説明されている。移行後に方向づけをし、例えば宮川地区を他の水道と合併させる等含めて検討すると聞いている。ただ、企業会計への移行は複雑で相当な人的費用もかかることもあり時期等含め理解願いたい。	
質問	ふるさと納税寄附金の使途について、小浜から他へ出た方が寄附金として納めていると思うが、使い道について、市としての使い方、考え方がどうなのか気になっている。この地区でも人が流出して地域に残り伝統行事等を守る活動していても非常に負担になってきている現状がある。寄附金での使い道を地域に残った人の活動支援できる形に出来ないかと思い質問した。	
回答	寄附金は最近では3億円程度で推移している。仕組みについて、国より返礼品の割合を3割以内にと平成29年4月実施指示があり、以降伸び悩み、若干減少気味との説明を受けている。使途については、寄附者の希望確認をし、使途決定している。使途自由という場合は一般会計に入れ地域の活性化や一般財源の自主財源充当部分に当てていると聞いている。他の地区でも同様意見があり、地域の文化、伝統を守るのは大変なことで、委員会等でも取り上げ議論したいと考える。	当日の回答どおり
意見	地域が疲弊していかないように、それを阻止する形の使い道というのを考えていただきたい。	
質問	20年ほど前のナホトカ号座礁時、小浜市に結構な義援金があったと記憶しているがあの使い道はどうなっていたのか。	
回答	今わからないので、確認する。	行政に伝える (回答を求める)
質問	空き家の老朽化が進み解体したいが費用捻出出来ず放置するケース、先祖代々受け継いだ家を自分の代で壊すのが忍びなく決断できないという2パターンあると思う。相続時に空き家バンク等市役所で聞いたが、登録のみの状況で、望む人が空き家バンクで探しあてられるか疑問である。リフォーム等で水回り他を改修しなければ、登録の家に住む希望者は出ない。市は空き家バンク登録だけの支援説明しかなく、空き家所有者にすると、もう少し市側のフォローが欲しい。海外例では、古家を改修し住居にすると減税措置等があったり、逆に新築住居には負担が増える等法的措置があると聞く。資料では山間部の比率が高いが、田舎をプラスに捉えて、観光客なり短期滞在型のプログラムなど、空き家の持ち主に打診し民泊等の拠点施設を、市側が助言、企画できないか。	

	<p>回答 空き家でも元栓を封印処置しないと料金対象とされ、元栓封印費用も数万円程度必要であったと認識している。昨年、山間地に他府県から移住希望があり、家プラス畑も持ちたいという付帯希望もあった。農地取得には制限があるが、今回農業委員会で、1反強の畑を認めたと聞いている。空き家対策は、国も同様、取組みはここ数年である。数年前まで市で担当課も決まっていなかったのご理解願いたい。国からの援助等は、リフォームや、再利用に関し若干補助があるが、解体等の解決策は自治体で実施する方向となっている。本年度より市の一般財源から予算範囲内で解体に最大25万円程度の補助が開始され、リフォーム等と共に条件等下のもと、少額ではあるが補助があり相談してもらえればと考える。ふるさと納税利用等もこれに利用できないか持ち帰り議論させていただく。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>意見 リフォーム業者は市内にもあり、空き家の程度が良く売却希望があれば、リフォーム業者の力を借り、完成予想図等もつくり、見積もりも含め、その内補助金額、個人負担を算出等し提供すれば解決に寄与すると思うがどうか。</p>	
	<p>回答 担当課で選択肢の中にはあるように聞いたことがあるが実施報告までには至っていない。危険な空き家の対策件数も多く、対策開始からの期間の状況もあるので、ご意見は今後委員会等の場で反映出来ればと考える。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>質問 こうのとりの大橋から市内に向かう道路で、朝の通勤時に、中高生等が徒歩で横断歩道を渡る際に通勤時間と重なるが、歩行者信号と車両信号共に青の現象が発生する。土地柄か、自動車が優先する形となり、その時間帯だけかも知れないが歩行者の足止め状況が発生し、改善を要すると思われる。歩行者用の信号設定を変更をしたり、対面の右折の時差信号をつくる等の対策をすべきである。水取側の橋等改修架け替えで交通量が増える。工事開始後、歩行者の殆どがこうのとりの大橋を渡ることになる。危険な場面の増加が考えられ、今後のため対処されたい。</p>	
	<p>回答 西津橋、大手橋の架け替えでこの先数年間、色々な工事が始まる。道路拡幅箇所もあり、歩道橋について工事中には現橋近くに確保すると聞いている。工事によりこうのとりの大橋の歩行者が極端に増大することは想定されていない。しかし車両交通量は増え対策は厳重にされないと想定外のことが起こる可能性があり、地域の主要な箇所であり、担当課に伝え対策を促す。</p>	<p>行政に伝える (回答を求めない)</p>

平成30年12月20日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 牧岡 輝雄

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月16日（金） 19：30～20：55	
会場 / 地区	内外海公民館 / 内外海地区	
出席議員	3班 / 藤田善平、池尾正彦、牧岡輝雄、西本清司（計4名）	
参加者（市民）	20名	
報告事項	司会・班長：牧岡、報告者（定例会報告）：池尾、（空き家対策について）：藤田善、書記：西本	
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	市の空き家対策予算が、現在90万円と少額である。来年度、国でIターン、Uターン対象、新規で若い方に100万円補助するとの記事を見た。全国で積極的に新しい方を受け入れている。その中で、小浜がたった90万円程度での空き家対策では非常にさみしい。程度の良い空き家物件等には積極的に取り組み、手遅れにならない策が必要。よって予算についてももっと配慮すべきと考えるがどうか。
	回答	程度の良い空き家利用は幾つかの例もある。たとえば農地とセットで取得されたもの等の、有効な活用の実例もある。意見は市のほうに伝える。
	質問	河内川ダムの維持費は、今後何年間支払いが必要か。また、今、国で水道事業を民営化という動きがあるが市の対処、今後の方向性はどうか。
	回答	現在河内川ダム負担金は建設負担金として、国、県補助も受け支出。完成後の維持経費等は、担当課の説明では管理事務費等の按分負担が考えられるが、今後の維持管理等について県から詳細説明もない状況で、浄水場等についても現段階では議論されていない状況である。水道事業等は現行特別会計等にて運営、国の指針に沿って企業会計への会計等変更を進めている。民営化について、担当者個人の意見とし、現実問題として民営化は利用件数や、地形、面積等も勘案しても大変難しいと感じているとのことであり、我々も同様の受止めが現況である。
	質問	市では食のまちづくりを推進し、食を売りにしている中で、相変わらず農薬の空中散布が行われている。今ごろ、まだやっているのかというイメージがある。今年、小浜湾の釣りが不調で、この影響を懸念している。欧米での禁止農薬が日本では緩和されている。都会の、特に高額所得者等は、こだわりの食材を求めており、小浜が先進的取組みとして、無農薬化等に取組む

	回答	<p>べきではないのか。</p> <p>以前、ヘリでの農薬散布に対して質問した。食のまちづくりが進められていた時期でもあり、その後は現行のリモコンの小型機械へ変更された。農薬等が海へ流出することは不明だが、食のまち施策は、安全な食の提供が根本である。他自治体で取り組み例もあると聞く、意見を踏まえ理事者側にも伝えていく。</p>	<p>行政に伝える (回答は求めない)</p>
	質問	<p>地元区の要望の中に久須夜を有効活用できないか、また、風力発電の設備設置等の意見があった。エンゼルラインは現在、4月から11月の間しか利用が出来ず、現状は都度補修程度の維持管理であるが策はあるのか。観光利用にも実際機能していないが、地元財産として議会で検討する方向はあるのか。</p>	
	回答	<p>エンゼルラインと、レインボーラインの比較をされると返答の言葉がない。活用については具体的な話は出ていない、地域要望に関し、土砂崩れ等のみ対処しているのが実態である。風力発電について、過去に調査したが、風向、風力等条件が揃わなかったと聞いた。トイレ等の維持管理は水源の問題もあり苦慮している。活用策含め意見を伝え、今後議論していきたい。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	質問	<p>小浜病院の待合場所のソファに穴が多く空いている、せめてこれくらいは修繕等出来ないのか。また、加斗地区の住民から、加斗トンネルを越えるのがネックになって買物で小浜へ来ず反対方向へ行くと聞いた。小浜市の市民が小浜で物を買わずに、おおい・高浜方面に行くみたいで残念でならないが。</p>	
	回答	<p>病院のソファの穴については、伝え対策を確認する。加斗地区の件は、地理的なこともある、出来るだけ市内で買物していただけるように啓発等していきたい。</p>	<p>行政（病院）に伝える (回答は求めない)</p>
	地区状況等を聞く	<p>鯖やさんができて、地域との交流、関わり等はどうか。</p> <p>田鳥区長：鯖やには結構関わってもらっている。今秋の田鳥の祭りでも、また先日、大阪の大学生が十数名来店、翌日には浜掃除を一緒にするとか、そういう協力もあり助かっている。</p> <p>漁業法の改正案が議論されているが当地区は漁業関連で影響はどうか。</p> <p>地区民意見：漁業関係の法律を変えられる事に懸念がある、漁業権を一般の企業等に付与すると、最終的に外国企業に貸す等</p>	<p>行政に伝える (回答は求めない)</p>



	意見 質問	<p>も考えられ、危険で問題があると考え。現在は漁協を通じて秩序が保たれていると考えている。また、漁獲量等の制限がなくなることで、大が小を飲み込むことになり、地元の小規模漁師は生計維持が成り立たなくなる。結局、大店舗法のように小規模小売店が全部潰れていくような事案と同様と受け止める。</p> <p>〔報告会終了直後の意見、質問等〕</p> <p>ブルーパークの県外利用者等は増加しているが、市内の学校にももっと利用してもらいたい。阿納尻の象の駅に、人の駅の看板がある、修繕をお願いしているがどうなっている。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p>
--	----------	--	----------------------------

平成30年12月20日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 牧岡 輝雄

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月2日(金) 19:30~21:00			
会場 / 地区	西津公民館 / 西津地区			
出席議員	4班 / 藤田靖人、佐久間博、下中雅之、富永芳夫(計4名)			
参加者(市民)	19名			
報告事項	司会・班長:佐久間、報告者(定例報告会):藤田靖、(空き家対策について):富永 書記:下中			
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	小浜市は福井県内9市の中で空き家率が一番高いが、人口減少率では小浜市より高い、勝山市、大野市のほうが空き家率が低い原因はなぜか。	【今後の対応】  当日の回答どおり	
	回答	国、県において空き家の定義がはっきりしていないこともある。		
	質問	相続放棄という状況の中で、隣接したお宅と連絡のとりようがないので、連絡ができる方法は何かないのかとの相談を区長の立場で受けた。その後市役所に尋ねると、「情報提供に基づき市は固定資産などをたどりながら調査する」との回答をもらったが、特定空き家の認定がなければ調査の対象にならないのか。	行政に伝える (回答を求める)	
	回答	特定空き家に認定されないと調査できない、ということではないと思う。空き家によって、近隣の方がそれなりの生活環境で悪い影響を受けているような状況があれば、市のできる範囲において調査を行うことと思われる。相続放棄があったという形の場合は、次の管理者が決まるまでは自己の財産、同一の注意義務を持って、その財産を管理しなければならないという義務がある。そのような申し出が合った場合には対応しているので、質問があったことに対し、行政に回答するよう伝える。		
	質問	小浜市内148区のうち自主防災組織は、どれくらい組織化されているのか。		当日の回答どおり
	回答	148句中100区を超え、70%位の結成率と聞いている。		
	質問	自主防災組織等活動支援事業補助金を利用して、防災に必要な資機材をそろえたいと思うが、置く場所の借地料に関する補助金や土地の固定資産税の減免措置等も考えていただきたい。	行政に伝える (回答を求めない)	
	回答	現時点ではそのような措置はないが、担当課に伝えておく。		
質問	日本遺産推進事業費213万7,000円で、旧古河屋別邸庭園修理とあるが、台風によって倒れた塀などをこの金額でどのように			

	修理されるのか。	
回答	この予算については塀が倒れる前の補修費であり、新たに塀などを補修するには新たな予算ということになるが、市の所有ではないので、所有者とのやりとりも必要と思われる。	
再質問	市は公開をできれば 12 月以降にしたいとのことだが、塀が倒れた関係で、それもできなくなるのではないか。	
回答	今後どのように対応するのか所管に伝える。	行政に伝える (回答を求める)
質問	台風の種類により避難所も変わるのか。	
回答	基本、小浜市として指定避難所を何ヶ所か決めており、その中から指定をするという状況でないかと思う。	当日の回答どおり
質問	3 回来た台風のうち、2 回目の台風の強風で避難所である公民館 2 階のガラスが割れたことにより、施設内に風が通りガラス戸が倒れ、和室に避難していたおばあさんの頭に当たったが、怪我はなかった。そのようなこともあり、3 回目の台風の時には避難所から外されたのか。	
回答	所管に確認し公民館に伝える。	行政に伝える (回答を求める)
質問	市のホームページの災害情報が遅くリアルタイムでないように感じるので、情報発信を早くしてほしい。市のホームページが非常にわかりにくい。	
回答	いかに情報を伝えていくということが行政にとって課題となるので、行政に伝える。	行政に伝える (回答を求める)

平成30年12月21日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 佐久間 博

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月8日(金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	口名田公民館 / 口名田地区		
出席議員	4班 / 藤田靖人、佐久間博、下中雅之、富永芳夫(計4名)		
参加者(市民)	21名		
報告事項	司会・班長: 佐久間、報告者(定例会報告): 藤田靖、(空き家対策について): 富永 書記: 下中		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	台風災害で5,028万円の補正予算額があるが、この件について、各地域の話だが、平成25年の18号台風のときに「改修しますよ」と言って市の人が来られ、そのときに市議会議員、県議会議員も来られたが、その後たなざらしの状況である。そのときも補正予算を組まれていると思われるが、そういうところは直さないのか。	【今後の対応】  当日の回答どおり  当日の回答どおり  行政に伝える (可能な範囲で回答を求める)  当日の回答どおり
	回答	その場所がどこなのかわかるように教えていただきたい。査定され予算が組まれている限り、それが執行されていないということは我々としては考えられないことであり、もし仮にそういうたなざらしにしてあることがあれば、それは、ゆゆしきことである。	
	再質問	場所等については市のほうに要望している。そのときの市の対応は、皆さんすぐにやりますという形であったが、次の年になったら予算がないということで、ずっとたなざらしになっている。予算を立てていると言っても、どこを直しているのかというのが聞きたい。	
	回答	先ほども申し上げたように、予算措置され執行されていないという形であれば、大きな問題なので確認をさせていただきたい。	
	質問	平成29年度決算の小浜で暮らそ事業で、2名の方が移住をされたとのことだが、どのような方が移住されたのか。	
	回答	2名の方については詳細は聞いていないが、できる範囲で回答させていただく。	
	質問	各地区から市のほうに沢山の要望を出しているが、予算がないということでなかなか進まないのではないのか。	
	回答	要望については、緊急性の高い箇所から順次対応している。たとえば、県が関係すること市単独のことでも、優先度を見極めながら、限られた財源の中で進めていると理解していただきたい。	

質問	JR 小浜駅環境整備事業のトイレ改修について、市が全ての費用を負担したのか。	
回答	市の費用をかけての改修である。JR の土地にあるが、小浜市は公衆トイレという形で改修している。JR は小浜線が赤字路線だという形の中で運行しているのが実情である。	当日の回答どおり
質問	口名田小学校体育館のトイレは、男性用 2 つ女性用和式が 1 つあるが、区の行事の開催場所と避難所にもなる。そのような点において、お年寄りや足が不自由な方にとって、非常に使いづらいということを市のほうにも上げてあるが、トイレの改修をお願いしたい	
回答	理事者に伝える。	行政に伝える (回答を求める)
質問	新幹線の前は地元線の積み立てたお金(嶺南鉄道整備基金) が何十億円かあると思われるが、新幹線開業のまちづくりにあわせてお金の使い道など、どのように検討されているのか。	
回答	嶺南 6 市町で嶺南地域公共交通網形成計画をたて、例えば JR 小浜線の強靱化や快速化などの課題について協議をしている。2023 年春の北陸新幹線敦賀開業は、小浜市にとってもまちづくりを進める大きなチャンスと捉えている。	当日の回答どおり

平成 30 年 12 月 21 日

小浜市議会議長 様

第 4 班 班長 佐久間 博

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年11月16日（金） 19：30～21：00		
会場／地区	中名田公民館／中名田地区		
出席議員	4班／藤田靖人、佐久間博、下中雅之、富永芳夫（計4名）		
参加者（市民）	21名		
報告事項	司会・班長：佐久間、報告者（定例報告会）：藤田靖、（空き家対策について）：富永 書記：下中		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	空き家対策について、田舎の家だと古い家を壊すのに250万円かかる。市のほうは、特別措置法に基づき条例をつけて指導、警告等いろいろなことをやっていると思われるが、かたってこない人に対する具体策がない。特別措置法に基づいて言う事を聞かない人には固定資産税を最高6倍にしても、田舎では、しれている。	【今後の対応】
	回答	単なる空き家の場合には、個人の私有財産という形の中で市は手が出せない。特定空き家という形で周囲に危険を及ぼすとか衛生上有害であるとか、それを認定して強制的な手段をとることができる。空き家を壊すのには非常に高い経費がかかるから、固定資産税が安いのなら空き家として壊さずにおいてあるという状況も、特定空き家に認定されれば固定資産税は、今、軽減税率が適用されて6分の1になっているが、それが適用されずに4倍から6倍の固定資産税を課税する状態になるが、普通の状態では、そういうことにはならないことをご理解いただきたい。	
	質問	小浜病院の免震装置（KYB製）のデータ改ざんと決算は、どのようなになっているのか	当日の回答どおり
	回答	平成30年11月6日に小浜病院において、KYBをはじめとする関連事業所と小浜病院の幹部との話し合いがあった。オイルダンパーを外に出す場合、必ず検査に合格したものを使用すると決められているところで、基準値の誤差が10%前後は許されるというデータを出してほしいといったが、その時点では、それらの書類を捜しているとの説明を受け、我々病院議員も「あれから1ヶ月も経っているのに、データを探しているとはどういうことなのか、完全に安全性に対し、由々しき問題である」と強く言った。決算については、国からの交付税措置があるというものの、赤字である。	

	質問	小浜病院から他の病院に流出する患者もあるが、大変な手術が成功していることなど、小浜病院のいい状況を市民に周知したらどうかと思う。	
	回答	地域の人たちが安心できるようにしようということで、我々も病院議会の中で、改革をしてほしいということ、小浜病院に直接話をしていますので、皆さんから愛される病院になるよう頑張る。	当日の回答どおり
	質問	小浜市は、河内川ダムに年間どれくらいの負担をしているのか。	
	回答	県から小浜市の負担金に補助が出る状態で、一般財源から 276 万円である。	当日の回答どおり
	質問	斎場について、新設する話はないのか。	
	回答	斎場の件については、小浜市、高浜町、おおい町で広域化の検討を進めている。市町単独では財政的な負担が大きいことから、地域住民の利便性も考えながら、2024 年度中に共同設置することを目標に事業推進が図られると考えている。現在、高浜町で広域ごみ焼却施設を推進していることから、広域斎場の場所については、小浜市かおおい町での検討と考える。	当日の回答どおり

平成30年12月21日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 佐久間 博